

■講義趣旨

都市の未来を構想するうえで「都市の文化」とは何か、という問いを各自が考えることは必須である。そのための講義と議論の時間とする。各回は、講師から 90 分程度の講義をいただいてから、残り時間を質疑応答、さらに全員での議論とする。

都市の文化という非常に広範な問いに対して、自分なりのアプローチの仕方を考えてほしい。

■シラバス

	講師	内容
① 9月27日	窪田亜矢	講義概要 趣旨説明 資料配布
② 10月4日	岡村祐先生 首都大学東京	・観光と地域社会の相関関係 ・まちや場を「オープン」にしていく観光まちづくりの方法論
③ 10月11日	田中暁子先生 公益財団法人 後藤・安田記念 東京都市研究所	昭和三陸大津波翌年 1934 年から工事が始まった田老の防潮堤は、東日本大震災でどのように機能したのか／しなかったのか、集落の人はどう受け止めたのか。
④ 10月18日	吉村武洋先生 長野大学環境ツーリズム学部	・自治体財政の基礎（歳入と歳出の構造） ・自治体財政の実態（長野県等を中心に） ・プロジェクト実施の費用負担の考え方と具体例（具体例は、森林税と棚田保全）
⑤ 10月25日	養原敬先生	中央主導型の都市計画に対抗する地域行政のあり方
⑥ 11月1日	稲葉佳子先生 法政大学	外国人が居住・集住するまち、大久保・歌舞伎町に深く関わられた中で、実態とは何かを教えていただき、それをふまえて空間計画は何ができるのか、考える
⑦ 11月8日	鄭一止先生 熊本大学	アジアという文脈の中で、韓国・ソウルにおける文化遺産の継承の到達点と課題を教えていただき、日本の状況との違いや共通点を議論する
⑧ 11月15日	学生発表＋議論	

■講義の課題

上記の第二回から第七回までの講義の中から、二回分を選んで

- 1) 講義の内容を整理し
- 2) それをふまえて、自分が探求したいと考えた論点や問いを述べて、
- 3) その論点に答えるために、既往研究のレビューと実態把握のための調査などを実施して、
- 4) 論点に対する考え方を発表してください。直接的でなくて構いませんが、都市の文化とは何か、都市の文化を未来に向けてどう継承できるのか、創造できるのか、という大きな問いにつながるように、考えてください。
- 5) 各回 3 ページ程度、合計 6 ページ程度（A4 両面、地図は必須、ダイアグラムなども歓迎）レポート作成
- 6) 11月15日の講義に、レポートのハードコピーを人数分（履修者分＋窪田）持参、発表と議論
発表時間は履修人数に依りますので、人数が決まったら決めます。